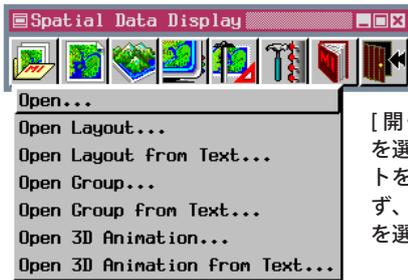


任意のタイプのオブジェクトを開く

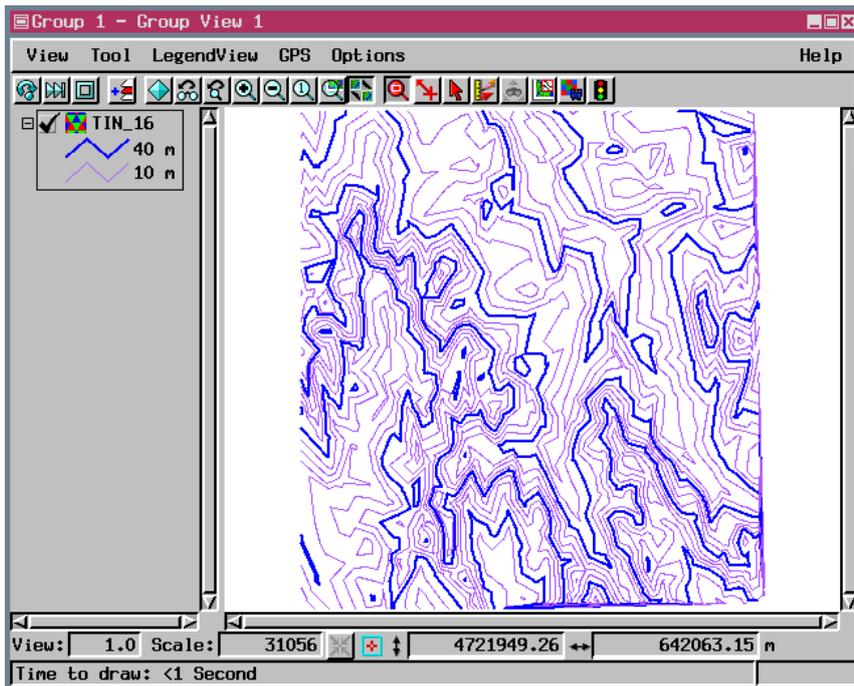
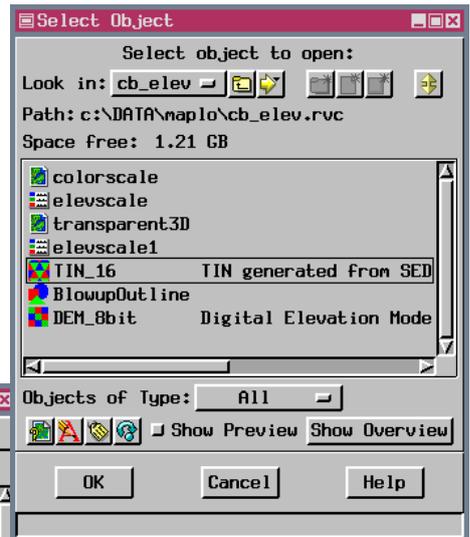
ご存知でしたか?... <空間データの表示> ウィンドウのツールバーにある最初のアイコンから任意のタイプの TNT オブジェクトを開けます。

[開く (Open)] アイコンによって...

- ラスタ、ベクタ、CAD、TIN、グループ、レイアウト、テンプレートなど、任意のタイプのオブジェクトを選択して表示できます。
- 空のグループが開いていない場合、オブジェクト表示用に新規グループを開きます。



[開く] ボタンから [開く] メニューを選んだ場合、グループやレイアウトを既に開いているか否かに関わらず、表示可能なオブジェクトタイプを選択できます。



このグループ表示は、TIN オブジェクトを選択した時に開きました。この例では、最後に使われた表示パラメータによって、選んだ TIN オブジェクトが 2 種類の指定の間隔 (<TIN レイヤコントロール> ウィンドウの [等高線 (Contours)] パネルで設定) の等高線として自動変換、レンダリング表示されています。

[開く] アイコンの使い方

- [開く] ボタンから [開く] メニューを選択して、任意の表示可能なタイプの TNT オブジェクトを選択します。
- [開く] メニュー上のその他のメニューを選択して、その他のタイプ (グループやレイアウト等) の TNT オブジェクトを選択します。

※ V2012 では <表示マネージャ> ウィンドウの [表示を開く (Open Display)] アイコンや [オブジェクトの追加 (Add Object)] アイコンをクリックして希望のオブジェクトを選びます。

さらに知りたいことがあれば...

以下の入門書をご覧ください：
地理空間データ表示
 (Displaying Geospatial Data)

(翻訳) 株式会社 オープン GIS
 東京都墨田区吾妻橋 1-19-14
 紀伊国屋ビル 1F
 Tel: (03)3623-2851
 Fax: (03)3623-3025
 E-mail: info@opengis.co.jp

